

令和7年第5回定例会の内容と、直近の鹿沼市議会の活動についてお伝えします。

あなたと議会

高校生
揮毫継

市内の高校生による「議会だより」の題字書きリレー
今号は鹿沼商工高等学校2年の金子暖絢さんが揮毫しました。



令和7年度補正予算など
28の提出議案などを審査

市政のそこが聞きたい!!

市政一般質問と議案質疑

議案や陳情の審査など

12月定例会の結果について

市内4高校の生徒との意見交換会

各学校で開催しました!!

表紙写真：鹿沼南高等学校食料生産科の皆さん
タイトル：力を合わせて、最高の「かめま和牛」を
育てるぞ!!

撮影場所：鹿沼南高等学校

No. **239**

2026年
2月25日
発行

高校生との 意見交換会

高校生の本音を聴いてきました！

この会は平成28年の選挙権年齢引き下げを機に始まり、毎年恒例となっています。

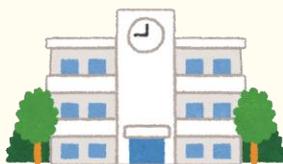
今回は、議会が提示した4個のテーマの中から、高校生が選んだテーマで意見交換をしました。

日常生活で感じていること、鹿沼市議会や鹿沼市に提案したいことなど、高校生の考えを聞き、また、議員の考えを伝えることで、活発な意見交換となりました。

高校生ならではのストレートな意見について、主なものをテーマごとにご紹介します。

【令和7年度開催実績】

開催日	学校名	参加生徒数
11月11日	鹿沼高等学校	17人
11月18日	鹿沼南高等学校	28人
11月20日	鹿沼商工高等学校	17人
11月21日	鹿沼東高等学校	19人



「市議会ってなに？
必要？何を期待する？」
について
に関する意見



市議会のイメージ

- 市民の代表として鹿沼をより良くしようとする人たち。
- あまり身近ではない。
- 市をより良くしようとするために議論する場所。
- 市民と市政との距離を近づける努力をしている。

市議会に期待すること

- 鹿沼市の強みは市民のつながりだと思うので、今以上に鹿沼市のイベントを活性化することで、市民同士の「つながり」を強くしてほしい。
- 憩いの場、交流の場を増やしてほしい。
- 未成年が意見を言える場をもう少し増やしてほしい。
- 自転車用道路が狭いので、もっと広くしてほしい。
- 街灯を増やしてほしい。
- もっと公園を増やしてほしい。
- 遊べる場所を増やしてほしい。



「ハラスメント」 について

に関する意見



ハラスメントについての 課題や印象

- 意識していないうちにハラスメントになってしまうことが怖い。
- 色々なハラスメントの種類を見ると、どこからがハラスメントになるのかわからないから難しい。
- 人によって、ハラスメントと感ずる基準がちがう。

ハラスメントが発生 しないためには

- 相手を思いやる言動が大切。
- 自分がされて嫌なことはしない。
- 偏見を持たないようにする。
- 自分が相手のことを考えて行動しないとけない。

「鹿沼市が進めている協働・共創のまちづくり」 について

に関する意見



協働・共創を 実現するには

- 人が集まる時期に定期的に行われるイベントを増加させる。
- 農産物を使ったカフェやブルメを作る。
- 鹿沼市独自の食材を使った料理教室を開催する。

- 農産物のマスコットキャラを作る。
- みんなが集まれる場所を提供できる会社を誘致する。
- 七タイムントを開催する。
- ニラカフェをオープンする。
- 地元の会社に協力してもらい鹿沼市のアピールをしてもらう。

協働・共創のメリット

- まちの人が住みやすくなる。
- 暮らしが充実する。
- 鹿沼の良さが増える。
- 自分達のまちがもっと好きになる。
- まちの人同士のコミュニケーションが増える。
- まちの人同士が仲良くなる。
- 人がたくさん来る。
- にぎやかになって観光客が増える。
- まちが安全安心になる。



「SNS・ネットニュース」について

に関する意見



SNS・ネットニュースのメリット

- お得な情報をゲットできる。
- 情報を集めやすい。
- 色々な人とコミュニケーションをとることができる。
- 色々な人とながれる。
- 知り合いが増える。
- 世の中について知ることができる。
- いつでも友達と繋がっている。
- すぐに最新の情報や流行を知ることができる。
- 流行しているものがすぐわかる。

SNS・ネットニュースのデメリット

- 画面を見るから目や首に悪い。
- フェイクニュースがある。
- 個人情報の流出。
- 直接する会話が減る。

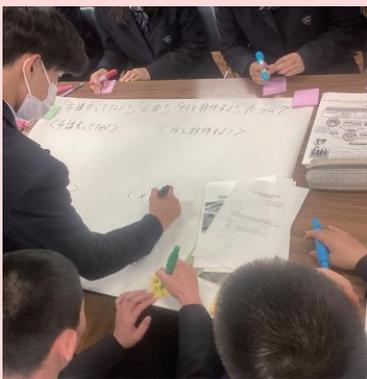
SNS・ネットニュースとの上手な付き合い方

- AIで作られた「嘘のニュース」がまわってくる。
- SNSでスマホの使用量が増える
- 家族との会話が減る。
- 詐欺に引っかかる。
- 何が嘘か本当か分からないような情報がある。
- SNSに依存しないように現実も楽しむ。
- ネットニュースを信じすぎないなうに気を付ける。
- デマに流されず自分の意志を持つ。
- 見る人の気持ちを考える。
- 個人情報がかかることを載せない。
- 正しい情報を見極める。
- 色々な情報を比較する。
- ネットの情報を全部信じない。



高校生の感想

- 議会と学生は遠い存在だと思っていたけれど、今回の話し合いを通して近く感じました。
- 議員の方々とお話しさせていただく機会は滅多にない貴重な経験だったと思います。
- きつちりとした感じで話すと思っていたのですが、議員さんがとても話しやすく安心しました。
- 短い時間でしたが、普段めったにお話することができないので、このような機会に携わることができて、とても楽しかったです。
- 議会が身近に感じられて、とても充実した時間となりました。



市政のそこが聞きたい!!

一般質問

市政一般質問と議案質疑は、議員が市の施策の状況や方針などについて、質問を行うほか、報告や説明を求めるものです。12月定例会では、14人の議員が一般質問や議案質疑を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

一般質問の「二次元コード」を読み取ると、その議員の一般質問の動画（YouTube）を視聴できます。



農業施設や設備、用水路の補修、維持管理について

鹿妻 武洋 議員



(YouTube)



答弁 活動する組織の支援に努めていきたいと考えています。

令和7年度の活動組織は36団体で、取組面積は2千468ヘクタール、市内全農用地の58%をカバーしています。近年、農村地域の過疎化や高齢化が進行する状況にあり、制度の周知を図るとともに、活動する組織の支援に努めていきたいと考えています。

なお、交付金は活動参加者の日当や資材の購入など、活動する中で必要な費用であれば、地域の創意工夫で幅広く活用することが可能です。

令和7年度の活動組織は36団体で、取組面積は2千468ヘクタール、市内全農用地の58%をカバーしています。近年、農村地域の過疎化や高齢化が進行する状況にあり、制度の周知を図るとともに、活動する組織の支援に努めていきたいと考えています。

問 多面的機能支払交付金制度の内容および鹿沼市における取組実績について伺う。

答 経済部長
本交付金は、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動を支援することを目的としており、農業用水路の補修などにも多く活用されています。基本的に地元の負担は無く、市を經由し各組織に交付しています。支援メニューは、農地維持活動と資源向上活動の大きく2つの活動を支援する構成で、農地維持活動は、草刈りや水路の泥上げなどの基礎的な保全活動、資源向上活動は、水路や農道の軽微な補修や、農村環境保全、多面的機能の増進、施設の長寿命化対策のための活動などです。交付金を活用した取り組みを行うためには、活動組織を設立し、活動エリアを定め、毎年活動計画を作成し、総会で承認を得る必要があること、また、複数戸の農業者と地域住民から構成されることを原則としています。

その他の質問事項 ○協働のまちづくり

AIチャットボット導入による行政サービスの効率化と住民満足度向上について

梶原 隆 議員



(YouTube)



答弁 早期の導入に向け、検討していきたいと考えています。

本市では、AIチャットボットの導入に向け、調査研究を進めていますが、AIチャットボットは、前述のような効果が期待できる一方で、一般的に、複雑な質問には不向きであり、あらかじめ想定されていない質問に対しては、誤った情報を回答する可能性もあり、その精度や正確性には課題があるものと認識しています。そのため、導入については、そのメリット・デメリット双方を慎重に見極めつつ、利便性向上や業務削減に効果が期待できる分野において、費用対効果等を含め、早期の導入に向け、検討していきたいと考えています。

AIチャットボットとは、AI技術を活用することで、人間と対話するような形で回答を提供するシステムです。質問をAIが即座に解析し、最適な回答を作成するため、利用者は求める情報を迅速に、24時間いつでも入手することが可能となるほか、日本語だけでなく、外国語にも対応可能であることから、外国籍の方に対する効果も期待されています。また、市の業務執行においても、職員が電話や窓口での問合せに要する時間や事務負担の軽減が図れるなど、AIチャットボットの導入は、市民サービス向上と業務効率化の両面において、効果が期待できるものと考えています。

問 AIチャットボットの導入について市の考えを伺います。

答 総合政策部長
AIチャットボットとは、AI技術を活用することで、人間と対話するような形で回答を提供するシステムです。質問をAIが即座に解析し、最適な回答を作成するため、利用者は求める情報を迅速に、24時間いつでも入手することが可能となるほか、日本語だけでなく、外国語にも対応可能であることから、外国籍の方に対する効果も期待されています。また、市の業務執行においても、職員が電話や窓口での問合せに要する時間や事務負担の軽減が図れるなど、AIチャットボットの導入は、市民サービス向上と業務効率化の両面において、効果が期待できるものと考えています。

その他の質問事項 ○議案第87号 鹿沼市手数料条例の一部改正 ○議案第91号 鹿沼市火災予防条例の一部改正 ○令和8年度予算編成方針 ○物価高騰対策



(YouTube)



野生鳥獣対策について

答弁 想定訓練を速やかに実施したいと考えています。

問 クマ出没時の対応として、緊急銃猟の際のマニユアル作成や想定訓練の実施状況及び公共施設へクマ撃退スプレーの配備状況について伺います。

答 経済部長
県では、今年度内に「市町がマニユアルを策定するための手引き」を策定する予定ですが、本市ではすでにマニユアル策定に着手しており、銃猟の実施を委託する猟友会や、警察との事前協議を経て令和7年12月中に完成する見込みです。マニユアルを策定することで、庁内の役割分担や関係機関との連携を明確にし、想定訓練を速やかに実施したいと考えています。

問 公共施設へのクマ撃退スプレーの配備状況は、保健福祉部2本、経済部5本、環境部2本、都市建設部2本、教育委員会1本、消防本部5本の計17本ですが、今後は、国の交付金等を活用し配備を拡充していきます。

問 クマ出没の恐れがある小中学校や、救急・消防車両等へのクマ撃退スプレーの追加配備予定と、早急な実施が望まれる想定訓練の具体的な実施予定について伺います。

答 経済部長
クマ撃退スプレーについては、学校や消防にも増やしていく予定です。想定訓練については、マニユアルを整備次第、実施したいと考えています。

その他の質問事項 ○発達に支援が必要なこどもの支援体制

林道保全について

答弁 良好な状態の維持に努めています。

問 粟野地域の林道保全管理状況を伺います。また、災害により、県道が通行不能になった場合は、林道が迂回路としての利用可能か伺います。

答 経済部長
林道とは、一般の公道である国道や都道府県道、市町村道とは異なり、特定の目的と管理主体を有する道路であり、林業の生産活動や木材の搬出、植林、下草刈り、間伐などの森林業を効率的に行うための作業路として位置づけられています。本市が管理する林道については、森林施業における作業用車両の通行に支障が無いよう維持管理をしており、具体的には月に1回の頻度でパトロールを実施し、路面やのり面の状況を確認しており、橋梁については、定期点検として、5年に1回の頻度で目視、触診、打音検査等の非破壊検査を実施しています。パトロールや定期点検により損傷を発見した場合には、直ちに緊急修繕や補修工事を行い良好な状態の維持に努めています。

昨今の猛暑の影響により、のり面や路肩部の雑草等が著しく繁茂し、通行に支障をきたしている箇所が見受けられます。このため、本市が管理する林道のうち、集落間を連絡する林道については、除草等を計画的に行い、仮に災害などにより県道等が通行不能になった際にも、迂回路として緊急的に活用できるように維持管理を図っていききたいと考えています。

その他の質問事項 ○県道入粟野引田線 ○県道下日向粟野線 ○過去の災害を教訓とすること

世界的に活躍する市内出身のスポーツ選手を市民全体で応援できる取り組みについて

答弁 メジャーリーグでの活躍の発信などを実施していきます。

問 市内出身の野球選手、今井達也投手のメジャーリーグへの入団を契機に、鹿沼市から世界に向けて飛び立つべく地元のヒーローとして、野球関係者だけでなく市民全体で一緒に応援できる体制やしくみをつくれなにか伺います。

答 市長
今井投手は、プロ9年目の今季、24試合に登板し10勝5敗、防御率1.92、また、178奪三振を記録する好成績を収めました。このように、今井投手の素晴らしい活躍は、市民の誇りとなり、本市を盛り上げる大きな力となることから、令和7年11月26日に「かぬまふるさと大使」に委嘱しました。

市全体で応援できるような体制や仕組みについては、これまででも平野早矢香さんや筑井利江さん、石原奈央さんがオリンピックに出場した際に、各々の事情に合わせてパブリックビューイングの実施や横断幕の設置、応援グッズの作成、凱旋パレードの実施などにより、市民全体での盛り上がり支援してきました。今井投手に関しても、本市の公式SNSやウェブサイトのほか、いちご市KANUMAサポーターズに認定されている企業の皆さんなどとも連携しながら、メジャーリーグでの活躍を発信していくとともに、出場試合の情報の発信やパブリックビューイングの実施など、状況に応じて対応したいと考えています。

その他の質問事項 ○新たな産業団地の整備 ○市の令和8年度の組織・機構の見直し ○第9次鹿沼市総合計画案と今後の事業展開

小島 実 議員



(YouTube)



藤田 義昭 議員



(YouTube)





(YouTube)



手話施策の促進について

答弁 学習環境の充実に努めていきます。

問 手話に特化した初めての法律となる「手話施策推進法」が令和7年6月に施行され、取組みの推進が自治体の責務と明記。平成31年に鹿沼市手話言語条例を制定している本市の取組みについて伺う。

答 保健福祉部長
市では、手話奉仕員養成講座をはじめ、初心者講習など市民向けの講習会を開催しています。また、ミニ手話講座を毎朝保健福祉部内で開催しており、将来的には他部局や関係団体等にも拡大していく予定です。庁内窓口においては、栃木県に登録されている手話通訳者を障害者指導員として常時配置しており、総合案内においても積極的にご案内しています。さらに、ボランティアの育成を推進するため、鹿沼市社会福祉協議会に委託し手話講師派遣事業を実施しています。現在実施している施策を継続し、必要に応じて改善を図りながら、鹿沼地区手話通訳者連絡会、鹿沼市聴覚障害者協会などに對し、支援を行っていきます。

問 市が行う手話奉仕員養成講座はハードルが高く、もっと気軽に始められ、市民が参加しやすい環境作りが必要ではないか。

答 保健福祉部長
手話の普及には市民が気軽に学べる環境も重要だと考えています。そのため、入門講座や、初心者向け市民講座、小中学校での授業、ボランティア講座など、多様な学習機会を提供しています。今後も鹿沼市手話言語条例の理念のもと、市民が手話に親しみ、理解を深められるよう、学習環境の充実に努めていきます。

その他の質問事項 ○教育環境の向上 ○第9期いきいきかめま長寿計画 ○職員採用における人材確保戦略と魅力向上

第9次鹿沼市総合計画について



(YouTube)



答弁 特に若い世代の参画が重要と考えています。

問 進学などで都会を目指す若者が、やがては鹿沼に戻り暮らしたいと思える、鹿沼市民としての誇りを持つシビックプライドの醸成を推進できる施策を第9次総合計画の中で掲げていくべきであり、市の見解を伺う。

答 市長
第9次総合計画では、先人が守り築いてきた「ふるさと」に愛着を持ち、本市に関係するあらゆる方々と手を携え、力を合わせ創り上げる「豊かな自然と文化につつまれ 人が輝き 地域が輝く みんなが住みたいまち」を将来のまちのイメージとして掲げ、市民はもちろん、市外・県外の人たちも「住みたい」と思えるまちを目指すこととしました。人口減少が進行する中、地域の担い手確保は重要であり、未来のまちづくりに向けての課題を見出し、その解決を図っていくためには、特に若い世代の参画が重要と考えています。第9次総合計画においても「若者の社会参加の促進」を重点施策の1つに位置付け、若い世代や子どもたちが地域への関心を高め、自ら課題に取り組み機運を醸成するための具体策を位置づけていきます。次の世代を担う若者や子どもたちにも、ふるさと鹿沼を大好きになつてもらい、ずっとこの地に住み続ける、進学などで市外に転出しても、ふるさと鹿沼を忘れず鹿沼に戻って就職してもらえる、あるいは、市外に定着しても、ふるさとを応援し、関わりを保ち続けたいと思ってもらえるような各種取組を進めていきます。

その他の質問事項 ○教育行政 ○本市の広報戦略

本市南部地域における道路整備について



(YouTube)



答弁 第9次総合計画に明確に位置付け、着実に推進していきます。

問 南押原地区のスマートインター整備について伺います。

答 市長
スマートインターチェンジは、人々の交流や物流の促進による地域の活性化、また、緊急輸送時の移動時間の短縮など、様々な効果が見込める施設として全国で設置が進んでいます。県内では、「都賀西方」など6カ所のスマートインターチェンジが供用中であり、そのほか、「大谷」など4カ所が整備中です。南押原地区への整備については、新たな広域連携軸の構築と広域道路網の充実に向け、令和6年度に引き続き、スマートインターチェンジの整備やファンック通りへのアクセス強化などについて継続検討を県へ要望しました。また、令和7年6月には、国土交通省関東地方整備局の相談会に参加し、スマートインターチェンジ整備に向けての検討事項等について、助言をいただきました。今後、事業化に向けて、国の進め方に沿って県と連携しながら、周辺の土地利用や具体的な整備スケジュールなどについて、検討を進めていきます。

その他の質問事項 ○郵便局との協力 ○喫煙所



(YouTube)



鹿沼市のライン通報について

答弁 通報内容を確認し、必要な対応を行うこととしています。

問 LINEシステムの実績についてお伺いしますが、どのような事案が多いのか、また、内容にもよるが、通報してからどのくらいの時間で折返しの通知があるのか伺う。

答 総合政策部長

通報できる事案は、導入当初は、「道路」「河川」「公園」「空き家」「雑草」の5項目でしたが、令和7年6月からは「フマ」「クビアカツヤカミキリ」の2つを追加し、現在は7項目となっております。そのうち、通報件数が最も多いのは、維持課が所管する「道路」で、令和6年9月の運用開始から令和7年11月までの間に受けた全119件のうち、54件が「道路」に関するものでした。

通報を受けた際の市側の対応手順については、通報を受けると同時に、各担当部署に直接メールが送られ、その後、担当部署がその内容を確認し、必要な対応を行うこととしております。通報に対する折り返しの通知の有無や、通知までの時間は、通報の内容や現地の状況などにより異なるのが実情であり、例えば、通報から1日以内に通知するケースがある一方、完了後の報告を含め、通知を行っていない場合もあり、対応方法は様々となっております。

なお、現在、所管課からの連絡の要否を伺う項目を設けるよう、システムの見直しを進めているところです。



(YouTube)



不登校児童生徒支援策としてのネット出席について

答弁 自己肯定感を高め、社会的自立を支援することにつながると考えています。

問 不登校児童生徒支援策としてのネット出席について伺います。

答 教育長

家庭にひきこもりがちであるため、十分な支援が行き届かず、そのため、学習の遅れなどが、進路選択の妨げになる場合もあることから、義務教育制度を前提としつつ、一定の要件を満たした上で、ICT等を活用した学習活動を行った場合、校長は出席扱いとすることができるとしてまいります。このような支援は、学習等に対する意欲やその成果を認めることで、自己肯定感を高め、社会的自立を支援することにつながると考えています。

今後も児童生徒がどのような場面で、どのような体験を積むことが社会的自立につながるのかといった視点を持ち、児童生徒が社会的に自立することを目指して、支援の充実に取り組んでいきます。

問 各小学校長の判断で不登校児童生徒の出席扱いに格差が生じない様、ガイドラインを作成してはどうか。

答 教育長

各小学校長が判断して出席扱いにすることができるとはなっておりませんが、実際の運用にあたっては、校長からの相談を受けて、教育委員会が緒に相談に乗り、校長の判断を助けています。文部科学省の通知が基準になつており、その都度、教育委員会と相談しながら判断できていますが、ガイドラインの必要性については検討していきたいと思っております。

その他の質問事項 ○学校再編計画の進捗状況



(YouTube)



鹿沼市の防災及び減災、並びにエネルギー政策について

答弁 林地残材を活用したバイオマス発電の調査研究を進めていきたいと考えています。

問 防災の観点から、林地残材使用のバイオマス発電事業は非常に有効であり、鹿沼市で行うべきだと考えるが、市の見解を伺う。

答 環境部長

沢沿いに放置された間伐材などの林地残材は、豪雨の際に被害を拡大させる危険性を含むものです。令和6年8月の線状降水帯に伴う大雨の際にも、環境グリーンセンターで約260トンの流木を処理したところであり、防災・減災の観点から、林地残材をなくすことが重要であると考えています。一方、山林が地域の70%を占める本市にとつて、林地残材を含めた木質バイオマスは、経済活性化、地域脱炭素等の実現における重要な地域資源であると認識しています。現在、環境部では、燃料費と二酸化炭素排出量の削減を目的に、製材過程で生じる端材を原料とした「高品質で安価な木質チップ」を燃料とする木質バイオマスボイラーを公共施設に設置することについて、検討しているところです。

林地残材を活用したバイオマス発電は、地域資源の活用が図れ、防災・減災、林業振興、脱炭素化の推進など多面的で高い効果が期待でき、民間事業者による実施など事業手法の幅も広く、持続性も確保できる事業であり、調査研究を進めていきたいと考えています。

その他の質問事項 ○社会資本整備 ○奨学金制度

市長公約について

橋本 勝浩 議員



(YouTube)



答弁 公約に掲げた36項目全て、実現に向けて動き出している状況です。

答 市長

問 令和6年6月の鹿沼市長選挙では、36項目が公約となっており、早期の実現に多くの市民が期待しています。1年半が経過し、その進捗状況及び、今年度中に策定予定の次期総合計画との位置付けについて伺います。

公約のうち、小中学校体育館へのエアコン設置など、30項目は実施または着手、6項目は検討を開始しており、公約全て実現に向けて動き出している状況です。総合計画は、行政の最上位計画であり、これからのまちづくりの指針を示す市政運営の要となるものです。公約は、市長選の時に市民の皆さまとした約束であり、5か年の基本計画の中にしっかりと位置付けて、実現に向けて邁進していきます。

問 公約の一つである「高齢者の通院のためのリバス・デマンドバスの無料回数券給付・地域共助型交通サービス導入への支援」について、西方病院へ予約バスでの実証実験後の公約実現見通しについて伺います。

答 市長
西方病院への予約バスの実証運行をしてきましたが、年間を通じて利用者が少なかつたため、令和7年9月をもって目終了させていただいています。令和8年1月、主に南押原地区の方々を対象としたアンケート調査の準備を進めており、アンケート調査の結果なども含め、検討していきたいと考えています。

その他の質問事項 ○健全な行財政基盤づくり ○高齢者福祉の充実 ○流域治水の推進

移住獲得について

佐藤 誠 議員



(YouTube)



答弁 市内で暮らし働く方々全体の住みやすさを底上げすることが重要であると認識しています。

答 総合政策部長

問 本市の人口が9万人を割り、高齢化率が30%を超えた状況下、若い現役の子育て世帯を獲得すべく市内金融機関の住宅ローンを利用して住宅を取得した世帯に対し最低10年間の固定資産税の減免を実施すべきだが執行部の見解を伺う。

住宅を取得する移住者への支援は、本市を含め県内複数の自治体で実施しており、目的に応じた様々な要件を設定していますが、住宅ローンの利用を要件としている自治体は、宇都宮市だけでなく、支援内容も固定資産税の減免ではなく、補助金として支給するものとなっております。本市では、市民向けに市内産の木材利用を要件とした新築住宅の取得に対する最大50万円相当の補助制度も実施しているほか、空き家の有効活用に向け、対象を移住者に限定した措置ではありますが、空き家バンク登録物件の住宅リフォームに対する補助制度も実施しています。

本市においては、基本的に移住者に限った支援ではなく、市内で暮らし働く方々全体の住みやすさを底上げすることが重要であると認識しており、現時点では移住者に限定した固定資産税の減免制度の創設は考えていません。移住者に対しては、今年度から開始した新卒者就職祝金の市内企業との連携強化や、移住・定住サロンなど交流事業の更なる充実を図っていきます。

その他の質問事項 ○『地域ブランド調査2025』 ○次期総合計画

中山間地域への企業誘致について

船生 雅秀 議員



(YouTube)



答弁 積極的に企業誘致に繋がっていきたいと考えています。

答 市長

問 市長公約において掲げられた「西北部にミニ工場用地整備」について、進捗状況や今後の展開について伺う。また、学校の統廃合による学校施設を活用した企業誘致は考えられないか。

本市の栗野地域を含む西北部への企業誘致は、それぞれの地域が持つ特性や資源等を活かし、地域の振興に繋がるような企業の立地を促進することが大変重要であるため、地域の意向を十分踏まえながら、誘致を図る必要があると考えています。具体的な取り組みとしては、令和7年度、西北部の全ての自治会の皆さんのご協力をいただき、工場が進出できそうな用地及び使われていない工場や事務所などの情報提供を依頼するとともに、企業誘致についての意見交換を実施してきました。一方で、企業訪問などを通して、西北部への企業の立地ニーズの把握を行っています。さらに令和8年度、設置を検討している東京サテライトオフィスなどを活用することで、より多くの企業の立地ニーズを把握することができるとは期待しているところです。引き続き、西北部の工場適地の情報の収集に努めるとともに、立地ニーズとのマッチングを行い、積極的に企業誘致に繋がっていきたいと考えています。

閉校が予定されている学校の利活用についても、それぞれの地域の皆さんの意向を確認しながら、新たな行政財産としての可能性や自治会を中心とした利活用、企業等の誘致を含めた民間活用など、地域にとって有意義な利活用となるよう柔軟に対応する考えです。

その他の質問事項 ○熊の被害対策

議場の生け花

議場では一般質問の3日間、各団体様のご提供により生け花を飾っています。
今回の生け花は、華道連盟・深井芳恵様の作品です。



テーマ 温かい冬を贈ります

花材 プリンセチア、グロリオサ、白木、シンフォリカルフォス、リュウココリネ、モミの木、乙女リンゴ

コメント 「華道家元池坊」は日本最古・最大の華道の家元です。伝統的な花形の他に、現代的な自由花があります。今日の花は自由花です。クリスマスの雰囲気を中心くまで堪能できるよう、ワイングラスが花器です。自由な発想で現代の暮らしや、若い世代にも好感を持っていただけるような型のない様式です。剣山の色が映らないよう、代わりに白い吸水スポンジを使用しました。

議場のお茶会

市議会文化・スポーツ・芸術振興議員連盟主催による「議場お茶会」を定例会開会前の11月26日に開催しました。日本の伝統文化の振興を目的に、鹿沼市茶華道協会茶道部会の皆様のご指導のもと、本格的なお点前を体験し、茶道の奥深さに触れる貴重な機会となりました。

今回のお茶会が次世代の文化継承の一助となり、伝統文化の更なる発展に、市議会としても取り組んでまいります。



令和7年第5回定例会

市長提出議案 28 件、議員案が 3 件提出されました。また、陳情 2 件を審査しました。

「全会一致（出席議員全員が賛成）」以外の議案等における、各議員の賛否は以下のとおりです。議員数 23 名、議長は表決には加わりません。
賛成：○、反対：●、不参加：不、除斥：除、欠席：欠

令和7年第5回定例会 議員の賛否を公表

番号	件名	採決結果	1 鹿妻 武洋	2 仲田 知史	3 橋本 勝浩	4 早川 勝弘	5 駒場 久和	6 船生 雅秀	7 橋本 修	8 藤田 義昭	9 梶原 隆	10 宇賀 神敏	11 大貫 桂一	12 石川 さやか	13 鈴木 毅	14 阿部 秀実	15 佐藤 誠	16 館野 裕昭	18 谷中 恵子	19 津久 井健吉	20 小島 実	21 増淵 靖弘	22 横尾 武男	23 関口 正一	24 大島 久幸
陳情 7号	山林整備・保全の推進を求める 陳情	不採択	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●

※その他の議案 28 件、議員案 3 件、陳情 1 件は全会一致で可決（陳情は採択）されました。

議案等一覧

令和7年度補正予算

議案 72 令和7年度鹿沼市一般会計 補正予算(第7号)について

歳入については、地方交付税、国県支出金等の増減額を計上し、歳出については、人事事務費、障害者自立支援事業費、生活保護扶助費等の増減額を計上したもので、この補正額を9億7,901万1,000円の増とし、予算総額を449億8,508万5,000円とするものです。

令和7年度補正予算

議案 73 令和7年度鹿沼市国民健康保険 特別会計補正予算(第2号)について

歳入については、県支出金及び繰入金の増額を計上し、歳出については、診療報酬内容点検専門員報酬、国民健康保険関係職員給与費等の増額を計上したもので、この補正額を896万6,000円の増とし、予算総額を96億9,054万8,000円とするものです。

令和7年度補正予算

議案 74 令和7年度鹿沼市介護保険
特別会計補正予算(第2号)について

歳入については、国庫支出金及び繰入金の増額を計上し、歳出については、介護保険関係職員給与費、介護認定調査員報酬、介護給付費準備基金積立金等の増額を計上したもので、この補正額を1,187万3,000円の増とし、予算総額を87億9,873万6,000円とするものです。

議案 75 令和7年度鹿沼市後期高齢者医療
特別会計補正予算(第2号)について

歳入については、繰入金の増額を計上し、歳出については、後期高齢者医療関係職員給与費の増額を計上したもので、この補正額を202万4,000円の増とし、予算総額を15億2,069万2,000円とするものです。

議案 76 令和7年度鹿沼市下水道事業会計
補正予算(第1号)について

収益的支出において、支出総額を708万円増額補正するものです。

その他

議案 77 訴えの提起について

市営北犬飼駐車場に放置されている車両の所有者に対し、当該車両の撤去及び占有された土地の明渡し並びに使用料の支払を求める訴えを宇都宮地方裁判所に提起するためのものです。

議案 78 辺地に係る総合整備計画の変更について

令和6年12月23日議案第84号として議決を得た西大芦辺地及び上・中粕尾辺地に係る総合整備計画並びに令和4年3月22日議案第17号として議決を得た上久我辺地に係る総合整備計画について、辺地における計画事業の変更を行うためのものです。

議案 79 栃木県市町村総合事務組合規約の変更について

令和8年4月1日から佐野市が議員の公務災害等に対する補償事務及び公立学校医等の公務災害に対する補償事務を共同処理することに伴い、栃木県市町村総合事務組合の規約を変更することについて、関係地方公共団体と協議するためのものです。

指定管理

議案 80 指定管理者の指定について

高齢者福祉センターの指定管理者として、社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会を指定するためのものです。

指定管理

議案 81 指定管理者の指定について

リサイクルセンターの指定管理者として、特定非営利活動法人ふうめらんを指定するためのものです。

市道

議案 82 市道路線の認定について

深津地内における鹿沼インター産業団地の整備に伴い、新たに築造された道路を市道として認定するためのものです。

議案 83 市道路線の廃止について

富岡地内における土地の一体的な利用を目的とした用地の売却に伴い、関係する市道を廃止するためのものです。

議案 84 市道路線の変更について

深津地内における鹿沼インター産業団地の整備に伴い、関係する市道の終点を変更するためのものです。

条例

議案 85 鹿沼市議会議員及び鹿沼市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び鹿沼市議会議員及び鹿沼市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について

公職選挙法施行令の一部改正に伴う国政選挙の取扱いに準じて、ポスター及びピラの作成に係る公費負担の額を引き上げるためのものです。

議案 86 鹿沼市部設置条例の一部改正について

近年、複雑化する諸課題へ効果的に取り組み、更に多様化する市民ニーズへの迅速かつ的確な対応のため必要な部局間の連携強化を図る観点から、既存の組織・機構を見直し、令和8年度から新たな組織・機構でスタートするためのものです。

議案 87 鹿沼市手数料条例の一部改正について

狂犬病予防法の特例により、同法に規定する鑑札とみなされたマイクロチップを装着した犬について、その登録手数料を無料とするためのものです。

議案 88 鹿沼市学校給食共同調理場条例の一部改正について

津田小学校北犬飼地区学校給食共同調理場の対象学校として、新たに池ノ森小学校を加えるためのものです。

条 例

議案 89 鹿沼市国民健康保険条例の一部改正について

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、本市の情報システムを標準準拠システムに移行することに伴い、納税通知書の名称を変更するためのものです。

議案 90 鹿沼市森づくり条例の制定について

本市の森づくりについての基本理念等を定めることにより、森林に関する施策等を総合的かつ計画的に推進し、もって本市の豊かな森林資源の保全及び次世代への継承に資するためのものです。

議案 91 鹿沼市火災予防条例の一部改正について

林野火災に関する警報及び注意報の創設等を行うためのものです。

人 事

議案 92 人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員(候補者) ※敬称略
小林 洋子(こばやし ようこ・下久我)

議案 93 鹿沼市公平委員会委員の選任について

公平委員会委員 ※敬称略
設楽 光江(しだら みつえ・幸町1丁目)

議案 94 鹿沼市粕尾財産区管理会委員の選任について

粕尾財産区管理会委員 ※敬称略
大塚 明(おおづか あきら・下粕尾)

議案 95 鹿沼市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について

情報公開・個人情報保護審査会委員 ※敬称略
宮坂 拓(みやさか ひらく・草久)

予 算

議案 96 令和7年度鹿沼市一般会計補正予算(第8号)について

歳入については、国県支出金の増額を計上し、歳出については、物価高騰市民生活支援事業費、児童手当費、野生鳥獣対策事業費等の増減額を計上したもので、この補正額を7億3,842万9,000円の増とし、予算総額を457億2,351万4,000円とするものです。

条 例

議案 97 鹿沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員の期末手当の額を引き上げるためのものです。

議案 98 鹿沼市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市長、副市長及び教育長の期末手当の額を引き上げるためのものです。

議案 99 鹿沼市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一般職の職員の勤勉手当及び期末手当の額並びに給料表を引き上げるためのものです。

議 員 案

議員案 8 鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例の一部改正について

昨今の情勢に適合した内容とするため、該当する部分を改正するものです。

議員案 9 議会改革調査特別委員会の設置について

特別委員会を設置するためのものです。

議員案 10 広報広聴特別委員会の設置について

特別委員会を設置するためのものです。

陳 情

陳情 6 学校統廃合後も学校歯科医の報酬手当の適正な水準維持を求める陳情

鹿沼市立小中学校再編計画による学校数減少により、学校歯科医報酬の激減が生じ、会務遂行に支障をきたしかねないことから、統廃合後も学校歯科医報酬の適正な水準維持を求めるものです。

陳情 7 山林整備・保全の推進を求める陳情

近年、全国的に線状降水帯やゲリラ豪雨等による大雨災害が頻発している中、板荷地域は周辺に山林が多く、倒木や土砂崩れ、山からの大量の出水による被害の危険性が高まっていることから、山林整備・保全を推進するよう要望するものです。

常任委員会 審査報告

新たな事業や
予算などに関し、
真剣な議論が行われて
います。このページで
は、審査内容の一部を
ご紹介します。

常任委員会とは、議会に提出された議案や請願、陳情などを審査するため、議会に常設されている委員会のことです。これまで設置されていた3つの常任委員会（総務・教育福祉・産業建設）のほか、今定例会から予算決算常任委員会が設置されました。
年4回の定例会では、市の予算や条例の制定などの議案について、各部署から説明を聞き、審査を行います。各定例会の最終日に、委員長による報告が行われ、議案の採決が行われます。

総務常任委員会（定数 8人）

●委員長 小島実 ○副委員長 仲田知史
・ 船生雅秀、大貫桂一、阿部秀美、佐藤誠、
津久井健吉、関口正一

議案86 鹿沼市部設置条例の一部改正について

概要 多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応し、業務の集約化や一元化を推進することで効率を高め、市民の期待に応えられるよう、令和8年度から新たな組織・機構で業務を行っていくためのものです。

議案91 鹿沼市火災予防条例の一部改正について

概要 令和7年2月に発生した岩手県大船渡市での林野火災を受け、総務省消防庁において、消防防災対策のあり方に関する検討会が行われました。検討会において、林野火災の発生原因の大半は、たき火や火入れといった人為的な要因によるものであるため、こうした火の使用行為への対策が重要である等の報告があったことから、林野火災に関する注意報及び警報を創設し、適切に発令等を行うことにより、林野火災の予防の実効性を高めることが必要であるとされました。このことを踏まえ、林野火災に関する注意報

教育福祉常任委員会（定数 8人）

●委員長 石川さやか ○副委員長 鹿妻武洋
・ 早川勝弘、駒場久和、橋本修、宇賀神敏、
谷中恵子、大島久幸

議案88 鹿沼市学校給食共同調理場条例の一部改正について

概要 食数及び調理員の減少に対応し、安全安心な学校給食の安定的な提供を図るため、池ノ森小学校の給食提供体制を「池ノ森小学校で調理提供する体制」から、「津田小学校を拠点校とした北犬飼地区学校給食共同調理場で調理し配送する体制」へ変更するものです。この改正により、県栄養教諭による小学校から中学校まで継続した食に関する指導が可能になるほか、調理場の集約による施設の維持管理コストの軽減や、民間委託による業務の効率化などを図ることが可能になります。

陳情6 学校統廃合後も学校歯科医の報酬手当の適正な水準維持を求める陳情

概要 鹿沼市立小中学校再編計画による学校数減少により、学校歯科医報酬の激減が生じ、会務遂行に支障をきたしかねないことから、統廃合後も学校歯科医報酬の適正な水準維持を求めるものです。

産業建設常任委員会（定数 8人）

●委員長 横尾武男 ○副委員長 橋本勝浩
・ 船生雅秀、藤田義昭、梶原隆、鈴木毅、
館野裕昭、増淵靖弘

議案90 鹿沼市森づくり条例の制定について

概要 市の基幹産業である林業及び木材産業等事業者の持続的な発展に関する施策を展開することにより、活力ある地域社会の実現を図り、手入れのいき届いた豊かで美しい本市の森林を次世代へ継承することを目的に、条例を制定するものです。条例では、森づくりに関する市の基本理念を提言し、市並びに森林関係者の役割を明らかにし、森づくりに関する指針や目標等を明記します。

それぞれが連携し、役割を果たすことで、森林の適切な管理が実現し、森林の有する多面的な機能の発揮が将来にわたり持続することを目標としています。

陳情7 山林整備・保全の推進を求める陳情

概要 近年、全国的に線状降水帯やゲリラ豪雨等による大雨災害が頻発している中、板荷地域は周辺に山林が多く、倒木や土砂崩れ、山からの大量の出水による被害の危険性が高まっていることから、山林整備・保全を推進す

及び警報の発令に関する規定の新設と、「火災と紛らわしい煙又は火災を発生おそれのある行為」の届出要件に「たき火」を追加し、当該行為にたき火が含まれることを明確にした内容となるように改正します。さらに、「火入れ」が関連することに伴い、併せて、「鹿沼市火入れに関する条例」を一部改正し、火入れの中止の条件に「林野火災に関する注意報」を追加する内容に改正します。

その他の付託審査議案

議案79 栃木県市町村総合事務組合規約の変更について

議案85 鹿沼市議会議員及び鹿沼市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び鹿沼市議会議員及び鹿沼市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について

予算決算常任委員会

◎委員長 増淵靖弘 ○副委員長 早川勝弘 ※委員は全議員で構成

議案72 令和7年度鹿沼市一般会計補正予算（第7号）について

・「ふるさと納税推進事業費」3千746万5千円の増額について

概要 ふるさとかぬま寄附金の実績見込みを踏まえ、返礼品等の関係経費を増額するものです。

概要 人事院勧告に伴う人件費のほか、上半期のこども医療費助成額の実績推移から、不足が見込まれるため、医療扶助費を計上するものです。

・「交通安全施設整備事業費」690万円の増額について

概要 西茂呂及び栄町地区において、栃木県警察本部が速度制限を時速30キロの区域に設定する「ゾーン30」を実施することから、道路管理者として路面表示に要する費用を補正するものです。

委員長報告

委員からは、「鹿沼市民の福祉と健康の増進のため、取り組むべき事業をしっかりと取り組んでいくべき」「今、歯科医師会が行っている事業が減らないよう、考えていただきたい」などといった賛成意見のほか、「実態を細かく精査すべき」という、継続審査を求める意見も挙がりました。まずは、継続審査とするか否かで挙手採決を行った結果、挙手少数となり、継続審査としないことに決しました。その後、採択とするか不採択とするかについて挙手採決を行った結果、全会一致で「採択」とすべきものと決しました。

その他の付託審査議案

議案80 指定管理者の指定について

議案89 鹿沼市国民健康保険条例の一部改正について

るよう要望するものです。

委員長報告

委員から「改善の必要はあるが、板荷地区に限らず市全体の問題である。特定の地域に偏らず対策を進めなければならないと思う」、また、「今回の陳情は一部の地区に限られた陳情であるため、板荷地区自治会協議会全体で合意形成を図る必要があると思う」といった意見が出され、挙手採決を行った結果、賛成少数で「不採択」とすべきものと決しました。

その他の付託審査議案

議案81 指定管理者の指定について

議案82 市道路線の認定について

議案83 市道路線の廃止について

議案84 市道路線の変更について

その他の付託審査議案

議案73 令和7年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

議案74 令和7年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第2号）について

議案75 令和7年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について

議案76 令和7年度鹿沼市下水道事業会計補正予算（第1号）について

議案77 訴えの提起について

議案78 辺地に係る総合整備計画の変更について

議案87 鹿沼市手数料条例の一部改正について

常任委員会行政視察報告

鹿沼市議会では、各常任委員会が、所管する事務に関する先進事例の調査などを行うため、行政視察を実施しています。各常任委員会で報告書を作成し、12月24日の本会議最終日に各委員長から議長へ報告を行いました。ここでは、各常任委員会の視察報告のうち、概要をお知らせいたします。なお、報告書の詳細は議会ホームページで確認できます。



総務常任委員会

●10月14日 兵庫県加古川市 テーマ:「DXを活用した地域公共交通」について

加古川市は、本市と同様に交通DXの課題を抱えつつも、バスロケーションシステムやICカード・スマホ決済、予約型交通など多様な施策が進められており、利便性確保とコスト抑制の両立を実現していました。地域密着型交通や高齢者対応ネットワークなど、自家用車依存が進む本市のお手本となりました。

これらの先進的な取り組みを、本市の地域公共交通計画に盛り込めるよう、引き続き、調査研究を深めていきたいと考えております。

●10月15日 大阪府吹田市 テーマ:「危機管理センター」について

吹田市は、災害の中核となる機能が整備されておらず、初動体制の遅れを解消するため、災害オペレーションルーム災害対策本部会議室、リエゾンルームを常設化、災害対策機能をワンフロアに集約し、迅速・効率的で対応可能な施設を整備しました。また、平時では多目的利用として高い稼働率を維持し無駄な空間にしないといった考えが伺えました。

活動内容としては、毎年全市・外部機関参加の本格防災訓練を実施し、有事モードを想定しリアルな災害状況による本格的な防災訓練に取り組んでいました。一方で、ハード整備は整うも、外部応援受入体制と専門人材の後継育成が課題であったため、災害マネジメント業務を的確に遂行するため、長期的に人材確保と人材育成に力を入れていると感じました。

●10月16日 兵庫県神戸市 テーマ:「人と防災未来センター」について(現地視察)

神戸市は、阪神・淡路大震災の経験と教訓、防災、減災、縮災の大切を21世紀へ、そして世界へ発信するため発災後から7年後に整備しました。施設内は、震災当時の映像記録や被災者の証言が強い衝撃とともに、当時の状況を伝えており、防災行政を携わる者として、改めて災害の恐ろしさと備えの重要性を認識しました。また、「人の行動」に焦点を当てた防災教育が特に印象的で、住民意識啓発とコミュニティの役割の大切を感じました。さらに、VRや子ども向けプログラムなど世代を超えた工夫も有効だと感じました。本市においても住民参加型教育、体験学習、地域リーダー育成を通じ、防災計画の実効性向上につなげるべきと考えました。



教育福祉常任委員会

●10月14日 福岡県北九州市(ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」) テーマ:「ひきこもり支援」について

特筆すべきは、半年間にわたる「家族講座」です。「聴く・待つ・伝える」をテーマに、関係が止まってしまったご家族と向き合うためのヒントを学び合うこの講座は、終了後も継続した支援に繋がっており、非常に充実した内容でした。

今後、本市としましても、このような伴走支援型講座を参考に、家族講座の開催につなげていただきたいと考えています

●10月15日 山口県下関市 テーマ:「健康寿命の延伸」について

最大の特徴は、「健康に関心が薄い層」への効果的なアプローチです。情報発信の工夫としては、毎月健康推進課が発行する広報誌に、7つの目標を繰り返し掲載し、通常の周知方法に加えて、スーパーマーケットへの広報誌の設置や、保健推進員による声掛け(令和6年は5万7千件)など、市民の生活圏内に情報を届ける工夫が徹底されていました。

●10月15日 福岡県太宰府市 テーマ:「ひきこもり支援」について

太宰府市では、本年7月開始の「ひきこもりサポート事業」に先駆け、LINEやWEBアンケートも活用した実態調査を行っています。相談までのハードルの高さや、家族のつらい、居場所への参加者が少ないことが課題です。そのような中で期待されているのが、「メタバース空間」を活用した相談支援です。また、ひきこもり支援コーディネーターの配置により、適切な専門知識に基づいた質の高い支援がされていました。

●10月16日 福岡県福岡市(ひきこもり成年地域支援センター「よかよかルーム」) テーマ:「ひきこもり支援」について

「よかよかルーム」は、電話、面接、訪問、手紙、オンライン、バーチャル等、様々なツールでの相談対応を行っています。また、グループ活動、フリースペースの設置、出張相談会や学習会の実施により、ひきこもり当事者やそのご家族を支援しています。「親が自分自身を楽しめるようになること」で、家庭内の緊張を解き、結果として当事者の自己肯定感を高めるというアプローチの「家族のためのセルフケアプログラム」が大きな成果を上げており、親の自責感の解消や家族関係の改善がみられたとの効果が得られています。ひきこもり支援において、まずは家族が「安全基地」となるための心理的支援の重要性を改めて認識しました。



産業建設常任委員会

●10月20日 北海道登別市 登別地獄谷の遊歩道の整備について

登別地獄谷遊歩道の視察では、電気自動車「グリーンスローモビリティ」の活用など、自然景観を最大限に生かしつつ、安全で快適な観光環境を整備する工夫を学びました。地形や火山活動などの自然条件を踏まえた遊歩道の設計、バリアフリー化への配慮、案内表示や照明設備など、観光客目線の整備が印象的でありました。

また、地域や観光事業者との連携により、環境保全と観光振興を両立させている点は、鹿沼市における観光資源の活用や持続可能な観光地整備を進めるうえで大いに参考となりました。

特にインバウンド効果を踏まえた費用対効果の視点も大切だと思われまます。

●10月21日 北海道白老町 ウポポイ(民族共生象徴空間)について

ウポポイ(民族共生象徴空間)の視察では、アイヌ文化の正しい理解と継承に向けた展示・体験型学習の工夫や、来館者に分かりやすく伝える展示演出が印象的でした。

また、地域住民や教育機関、観光事業者との連携による文化発信や観光振興の取組は、多文化共生の推進と地域活性化を両立する好事例であると感じました。

こうした取組は、地域の歴史や文化を尊重し、多様性を生かしたまちづくりを進めるうえで大いに参考となりました。

●10月22日 北海道千歳市 道の駅サーモンパーク千歳について

道の駅サーモンパーク千歳の視察では、地域資源を活かした観光振興と交流拠点づくりの先進的な取組を学びました。

サケをテーマにした展示や体験施設、地元産品の販売、飲食スペースなど、多様な機能を備えることで、観光客だけでなく地域住民にも親しまれる施設となっていました。

また、民間活力の導入や地域との連携による運営体制が効果的であり、地域経済の活性化に寄与していた点は、鹿沼市の道の駅整備・運営の参考として有益でありました。



特別委員会を設置しました

12月24日の本会議最終日に、議会改革調査特別委員会及び広報広聴特別委員会を設置し、委員を選任しました。

議会改革調査特別委員会



委員長
大島 久幸



副委員長
梶原 隆

委員
橋本 勝浩
駒場 久和
橋本 修
佐藤 誠
館野 裕昭
津久井健吉
増淵 靖弘
横尾 武男

付託事項

- (1) 議会DXに関すること
- (2) これまでの議会改革特別委員会で議論した事項の検証に関すること

広報広聴特別委員会



委員長
阿部 秀実



副委員長
藤田 義昭

委員
鹿妻 武洋
仲田 知史
早川 勝弘
舩生 雅秀
宇賀神 敏
石川さやか
鈴木 毅
小島 実
関口 正一

付託事項

- (1) 議会だよりの充実に関すること
- (2) 議会報告会及び意見交換会の発展に関すること
- (3) その他広報広聴に関すること

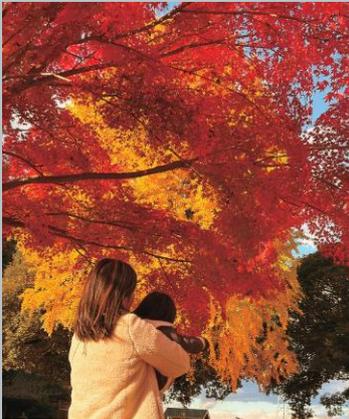


鼓動

藤田義昭議員

足立区議会写真展に出品しました。(前編)

令和7年12月9日から16日まで、友好都市である足立区において「足立区議会議員写真部作品展」が開催されたことから、本市議会でも7名の議員が計14点の力作を出品しました。今号では4名8作品を紹介いたします。その他の3名6作品は、次号に掲載いたします。



小春

早川勝弘議員



お兄ちゃんに負けないぞ! (ホームラン打てるかな)
谷中恵子議長



手古舞

藤田義昭議員



楽しい 夏まつり! (学校・家庭・地域が一体となって)
谷中恵子議長



ネコ

佐藤誠議員



黎明

早川勝弘議員



ゴッホの部屋

佐藤誠議員

中学生議会が開催されました

鹿沼・栗野合併20周年記念事業として、中学生が議員となる中学生議会が令和7年12月13日(土)に議場で開催されました。

本市の未来を担う子どもたちが、市政に対する質問を自ら考え、実際に議場で市長等執行部との議論を体験しました。

市内全中学校10校から18名の中学生が登壇、議長役も中学生が担いました。市議会からも、各中学校を訪問し、発言通告の仕方や議会の仕組みを学んでもらうなど、運営に協力いたしました。



定例会の日程

令和8年第1回定例会(予定)

月	日	曜	内容
2	9	月	議会運営委員会
	16	月	本会議(第1日) 提出議案の説明
3	2	月	議会運営委員会 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問
	3	火	本会議(第3日) 議案質疑・一般質問
4	4	水	本会議(第4日) 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託 予算決算常任委員会
	6	金	総務常任委員会/ 予算決算分科会
9	9	月	教育福祉常任委員会/ 予算決算分科会
	11	水	産業建設常任委員会/ 予算決算分科会
3	16	月	予算決算常任委員会
19	16	月	議会運営委員会 本会議(第5日)
	19	木	採決

令和8年第2回定例会(予定)

月	日	曜	内容
5	27	水	議会運営委員会
	2	火	本会議(第1日) 提出議案の説明
6	10	水	議会運営委員会 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問
	11	木	本会議(第3日) 議案質疑・一般質問
12	12	金	本会議(第4日) 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託 予算決算常任委員会
	17	水	総務常任委員会/ 予算決算分科会
18	18	木	教育福祉常任委員会/ 予算決算分科会
	19	金	産業建設常任委員会/ 予算決算分科会
24	24	水	予算決算常任委員会
	26	金	議会運営委員会 本会議(第5日) 採決

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページでご覧いただくか、または議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

表紙について

今号は、鹿沼南高等学校食料生産科の皆さんの作品です。



昨年度、本校において「畜産GAP」を取得しました。誰もが、安全に飼養管理できる基準となるものです。先輩から受け継いだ「かめま和牛」の生産を後輩たちに伝えていきたいです。

「あなたと議会」では、表紙の写真に高校生による絵画やイラストを掲載しています。次号は鹿沼商工高等学校の生徒さんの作品を掲載予定です。ご期待ください。

題字の揮ごう



鹿沼商工高等学校2年
金子 暖絢さん

あなたと議会

この度、題字を書かせていただき、たいへん光栄に思っています。全体のバランスを考え、一字一字丁寧に書きました。

今号は、鹿沼商工高等学校2年生の金子暖絢さんに揮ごうして頂きました。